



地域の企業・団体・住民

- 学生と一緒に地域課題に取り組みたい。
- 地域と大学の学び合いの場を作りたい。
- 学生のインターンシップや人材の育成に関心がある。
- 本学の取り組み全般に協力したい。
- 本学教員へ課題調査を依頼したい。

学生

- 地域づくり活動に参画したい。
- ボランティア活動がしたい。
- 地域課題に取り組む団体を立ち上げたい。
- 地元の熱い人たちとつながりたい。
- 地域の役に立ちたいが何から始めればよいかわからない。

当センターでは、ご相談をお受けしております。
皆さまの思いをぜひお届けください。



〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1
TEL 0234-41-1115 FAX 0234-31-2082
Email kyoso@koeki-u.ac.jp
URL https://www.koeki-u.ac.jp
開室時間 9:00~17:00(土・日・祝 休み)

大学本部棟に打ち合わせスペースと事務室がございます。
お気軽にお立ち寄りください。



このパンフレットは「令和2年度公益のふるさとづくり活動補助金(庄内開発協議会)」の支援を受け作成しました。

地域で活動する学生団体



お問合せ先 地域共創センター
kyoso@koeki-u.ac.jp

酒田おもてなし隊

山形県からの要請で、R3.4.1 ~ R3.9.30 まで開催される東北デスティネーションキャンペーンで観光客の誘致に取り組みます。また、昨年度コロナ禍で実施できなかった「駅からハイキング」も検討しています。



afaka (アファカ)

例年、地域のお祭りへ参加し、地域の魅力を満喫しています。また、事務イスで2時間走行する「いす-1グランプリ」に出場し、イベントを満喫しています。



IVUSA 山形酒田クラブ

国際協力、環境保護、地域活性化、災害救援、子どもの教育支援の5つの分野でプロジェクトを実施しています。
主に、海岸清掃を行っています。



KOEKI 日本酒同好会

庄内にある蔵元それぞれの製造方法やこだわりなどを学び合い、若い世代の人々に発信する活動をしています。
酒田にある酒造会社「オードヴィ庄内」さんとコラボし、日本酒ラベルの作成を行いました。



災害復興支援サークル チーム moreE (モアイ)

宮城県南三陸町のそみ福祉作業所で製作された「モアイグッズ」を代理販売しています。また、防災・減災活動にも取り組んでおり、災害時の非常食の試食会も開催しました。



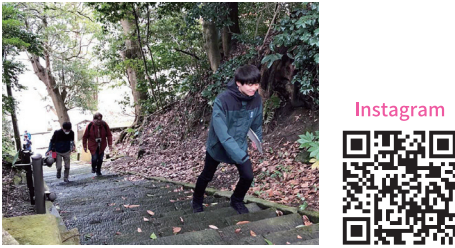
Praxis (プラクシス)

酒田市八幡の日向地区をフィールドとし、地域の方々と一緒に地域の課題解決に取り組んでいます。2019年夏にopenした「日向里(にっこり)カフェ」では月1店長をつとめています。



加'mon (カモン)

鶴岡市加茂地区にて、加茂自治振興会の方々と一緒に「景観マップ」を作成しています。
大学生の若い力で地域を盛り上げていきます。



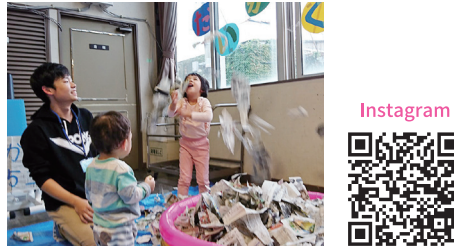
ラーメン同好会 「麺恋の」(めんごいの)

酒田ラーメンを心から愛するメンバーで、酒田中のラーメンを食べ歩いています。今後はラーメンの歴史や背景を学び、魅力を発信していきます。



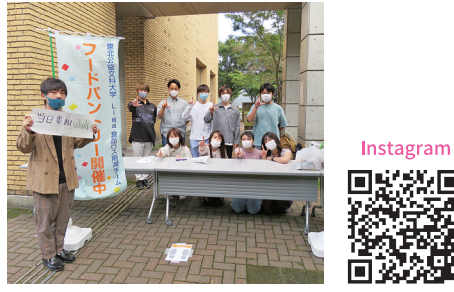
かけはし

子ども達に楽しんでもらえる遊び、親御さんにとっても憩いの機会になるようなイベントを企画しています。コロナ禍で活動の制限はありますが、酒田駅前交流拠点施設「ミライニ」でのイベントを検討中です。



Liga 食品ロス削減チーム

食品ロスを削減するために、定期的にフードパントリーを開催しています。また、飲食店での食べ残しを持ち帰る「ドギーバック」普及の取り組みも計画中です。



SCOP (スコップ)

学生たちが、山形県内の地域課題を掘り下げ、解決策を見出し実行する場所にしたいという思いで活動しています。「海洋ごみ」問題に向き合うイベントなどを開催しています。



／ともにつくろう。わくわくミライ。／

地域共創センター

地域と大学を結ぶ窓口として2006年に開設。
これまでの連携ノウハウと文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の経験を活かし、東北公益文科大学 地域共創センターは、地域と共に未来を創る活動拠点として、地元庄内・山形の皆さまと取り組んでまいります。



地域共創センター公認キャラクター
「ともつくん」





4つの部会で活動しています。

地域連携部会

行政や企業、地域の人々と公益大をつなぎ、社会・地域課題の解決に取り組みます。

産学連携部会

大学と外部機関とのパートナー関係を構築し、産学官連携を推進します。

防災・環境部会

自治体、地域住民とともに、防災・環境教育の充実を図ります。

ブランディング部会

IT技術を活用し、地域資源に新しい視点を創る研究を展開し、地域の文化を未来につなぎます。



こんな取り組みをしています。



学外ニーズの ヒアリング 学内シーズとの マッチング

ヒアリングシートにより学外ニーズを把握し、学内シーズと調整し、地域共創の輪を広げます。



公開講座 (FORUM21・ 共創カフェ)の開催

学内のみならず、地域に開かれた公開講座を随時開催し、学び合いと対話の場を提供します。



ボランティア 情報発信 活動支援

学生へのボランティア募集・装備品の貸し出し・研修会を開催し、学生のボランティア活動を支援します。



学生活動支援

学生向け講座の開催や学生活動支援助成金等の競争的資金制度を運営し、学生の主体的な学び、活動を支援します。



「ハタラクカタチ」 プロジェクト

学生が庄内地域の企業を訪問、取材をし、若者ならではの視点で地元企業の魅力や地域で働く方々のライフスタイルを発信しています。



地域防災

住民・行政・専門家と連携して、地域防災・減災のための講演会や防災マップづくり等のワークショップを開催します。



地域文化の デジタル アーカイブ化

松ヶ岡開墾場のドローンによる撮影などで、景観・伝統文化の保存と活用を研究しています。



委託事業 酒田市IT人材 育成事業

高度な情報技術を活かした各種講座・研究を通じ、地域で活躍できるIT人材を育成します。



共同研究 受託研究

行政や企業等の課題について、本学教員が共同研究・受託研究で解決を図ります。



マッチングもします。

ニーズ

学生や教員と
地域のために
一緒に活動したい！



シーズ

地域貢献が
したい！



「学生や教員と地域のために一緒に活動したい！」を可能な限りサポートします。どのような活動を展開できるか、共創の視点で一緒に考えます。

学生 × 地域

教員 + 学生 × 地域

事例 01

酒田市内の学童主催で初めての「子ども食堂」を開催予定。大学生にサポートしてほしい。



食事のサポートだけでなく、レクリエーション活動も楽しんだ。



事例 02

鶴岡市内で「若者祭り」を開催するので、祭りを盛り上げてほしい。



本学より、「かけはし」、「Praxis」、「afaka」、「チーム moreE」の4団体が出店し、祭りを盛り上げた。



事例 03

鶴岡市内の中学校の総合的な学習の時間で地域づくりに関する話をしてもらいたい。



酒田市日向地区で活動するPraxis（プラクシス）による出前講座を実施した。



事例 04

「舟形町住民主体の地域づくり事業コーディネーター業務」を依頼したい。



本学教員、地域共創コーディネーター、学生らが舟形町で住民のみなさんと一緒に新しい地域づくりワークショップに取り組んだ。



地域とつながっています。



日向コミュニティ振興会 事務局長 工藤 志保さん

学生活動団体「Praxis」を中心に“好き&得意なこと”で共創の地域づくり活動に関わって頂いています。子ども達とは「星空キャンプ・ミニ雪祭り」、高齢者とは介護予防講座、地域の方に畑を借り野菜を育てるなど世代を超えた出会いにより共に刺激を受けながら成長させてもらっています。



NPO法人ぼらんたす 事務局長 栗原 穂子さん

「ぼらんたす」では、地域の課題を人任せにしない地域づくりに取り組んでいます。地域を知り、地域の課題と向き合うボランティア活動にぜひ参加してみませんか？「らくやこども食堂」、「こどもまちづくり倶楽部」等いろいろな活動が皆さんをお待ちしています。



酒田市ボランティア・公益活動センター センター長 長尾 和浩さん

当センター（愛称：ボラポートさかた）は、市民や学生のボランティア・公益活動を応援する酒田市の機関です。地域共創センターと連携しながら、地域や各種団体のニーズと学生の皆さんの思いをつなぐとともに、その活動を支援していきます。